

アジアにおける

— 日本文化と日本語教育 —

日本語教育

世界的な日本文化への関心の高まりを受け、日本・海外の各大学では、語学教育としての日本語教育だけでなく、日本の現代文化や伝統文化の学習・体験にも注力している。このような国内外の現状を踏まえ、日本語教育の状況と課題を共有し相互理解を深め、日本語・日本文化の教育および研究を共に発展させることを目的とし、「日本文化と日本語教育」をテーマとしたシンポジウムを開催する。

オンライン方式
(Zoom Webinar)

参加無料

定員
500名

2022年
3月5日(土)

13時30分～16時50分 (予定)

司会

国際連携部門 副部門長 藤山 一郎

基調講演

「日本語・日本文化の多様性と日本語教育」

日本大学文理学部 教授 野田 尚史



総括

和歌山大学国際連携部門 部門長 長友 文子



大阪外国語大学で国費留学生に日本語を教えた後、筑波大学で日本語教師を目指す学生に日本語文法を教える。その後、大阪府立大学で日本語学関係の科目を担当した後、国立国語研究所で日本語教育学と現代日本語文法を中心とする研究を行う。2021年4月から現職。現在、文化庁の「日本語教育人材の研修プログラム普及促進事業」の企画・評価会議委員やNHKの放送用語委員を務めている。

和歌山大学教育学部に赴任後、2006年に国際教育研究センター長、2021年から国際連携部門長を務める。留学生の日本語、日本文化、国際理解教育や、日本人学生の日本語教育学を担当。また、和歌山県国際交流協会理事を務め地域の在住外国人・外国人児童生徒の支援に関わっている。

事例発表

パネル・ディスカッション



ディルクシ・ラトナーヤカ
(ケラニア大学 現代言語学科長)



イブラギモヴァ・マリカ
(ウズベキスタン国立世界言語大学
日本語学科 上級教師)



リンダ・ウンスリアナ
(ビヌス大学 人文学部 日本語学科)
※事例発表のみ



ロベルト・マサミ・ブラボウォ
(ビヌス大学 人文学部 日本語学科)
※パネル・ディスカッションのみ



秋田 有紀
(ブルネイ・ダルサラーム大学
言語センター 講師)※事例発表のみ

事例発表 司会

国際連携部門 特任助教 松下 恵子

右記QRコードまたは和歌山大学国際連携部門 (IRD) HPから登録フォームにて事前にお申し込みください。

